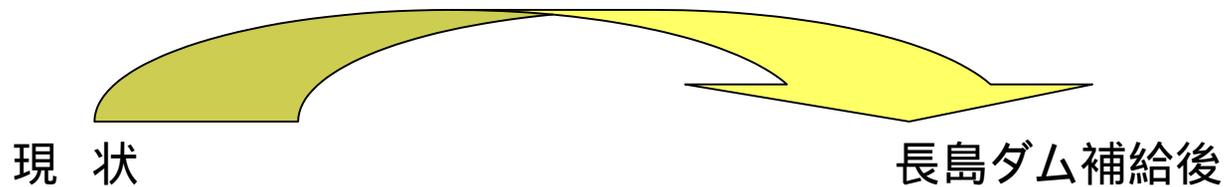


# 河川の流水の正常な機能を維持

## ダムによる河川流量不足解消

ダム完成に伴い、河川の正常な機能の維持に必要な流量を安定的に確保し、生態系の維持、水質保全等を図ることが可能

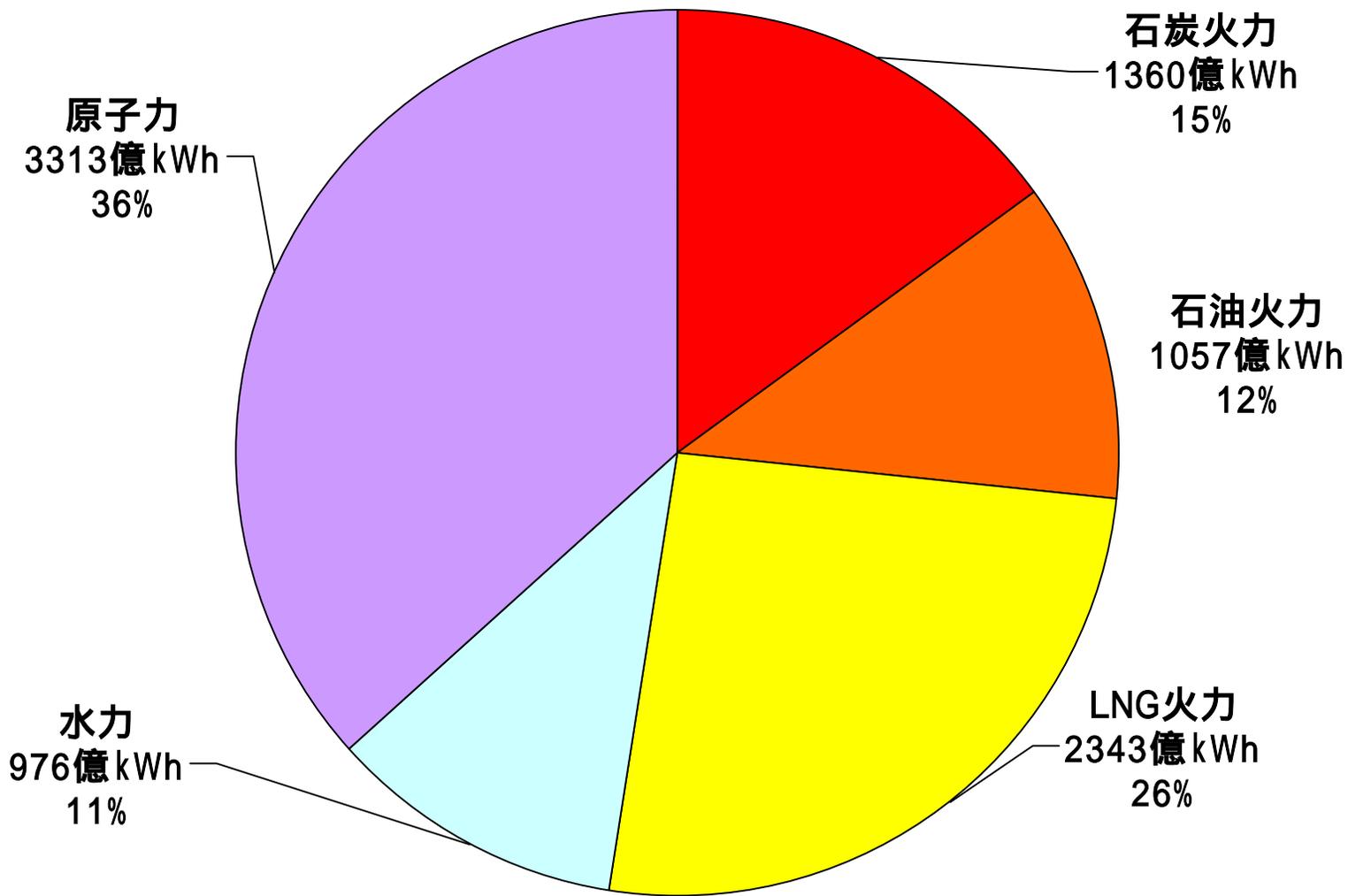


大井川(塩郷地先)

**全国の水力による発電量は、総発電量の約11%を占める**

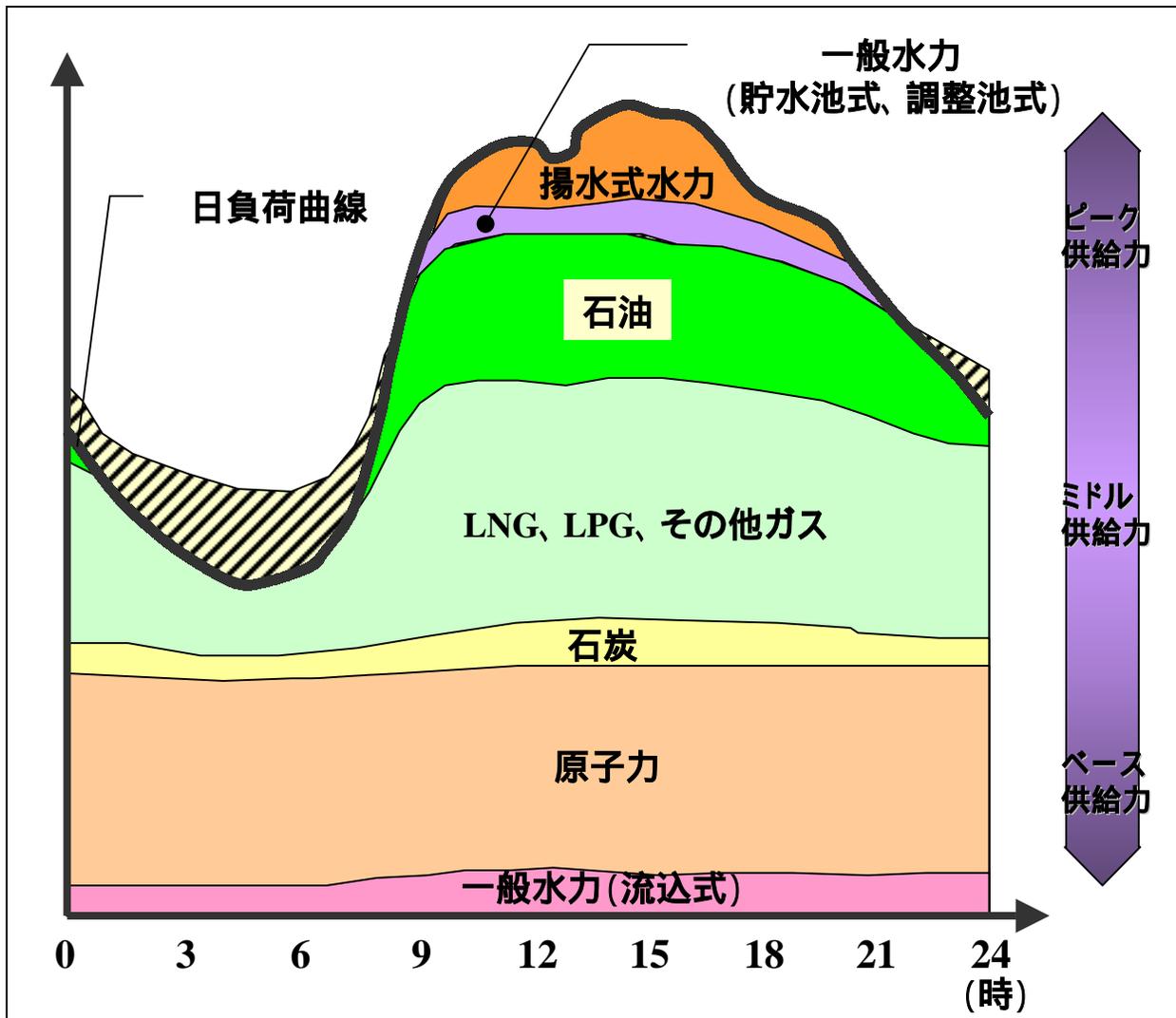
**全国の水力による発電量は、総発電量の約11%を占める**

**全国の発電量 9049億kWh**



# 変動する電力需要に対応して、電力を供給する水力発電

## 一日の時間帯別発電



貯水池式、調整池式水力発電は、電力需要のピーク時に電力を供給。

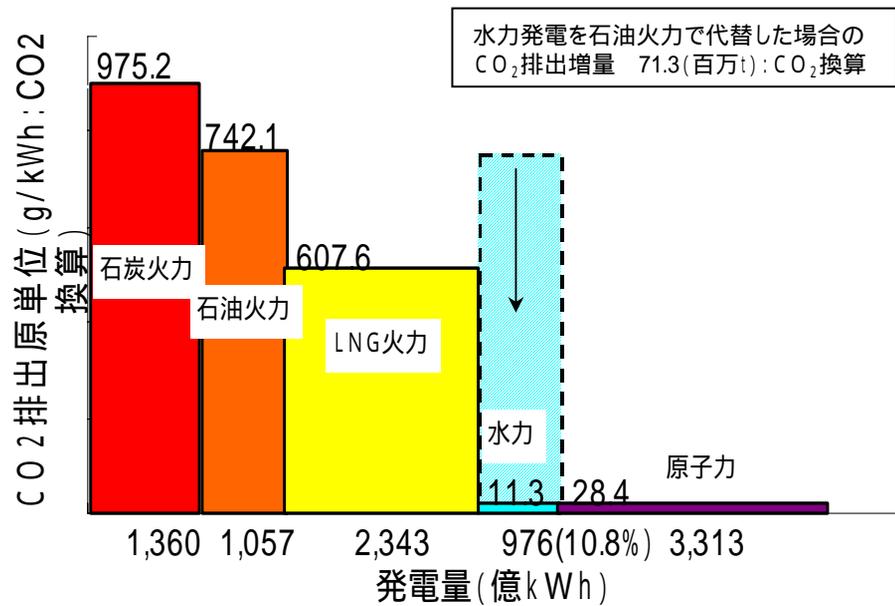
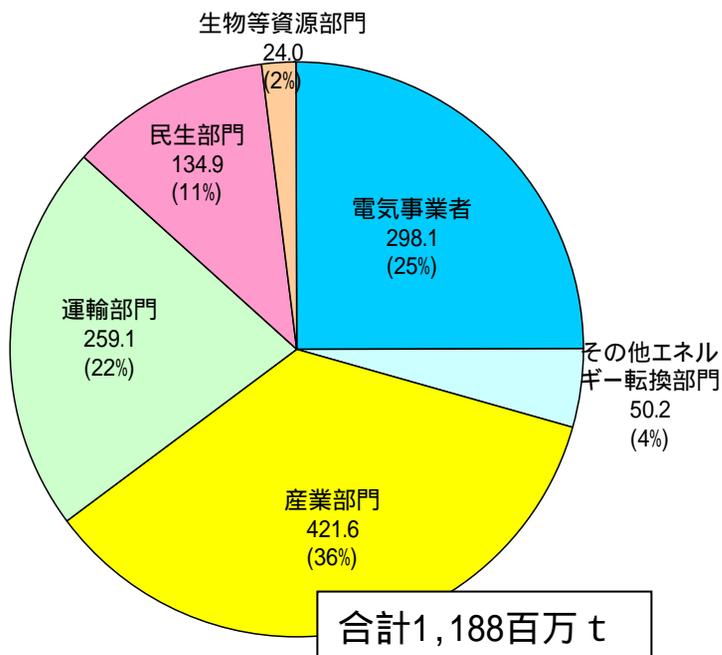
揚水式水力発電は、夜間の余剰電力を有効に利用し、ピーク需要時に対応。

流込式水力発電は、電力供給のベースをなす。

出典：数表で見る東京電力  
平成13年度

# 水力発電は化石燃料の消費を抑え、二酸化炭素の排出を抑制することから地球温暖化防止に効果がある

- ・ 電気事業者は国内の二酸化炭素排出量の約25%
- ・ 水力発電の電気事業者の総発電量に占める割合は、約11%
- ・ 水力発電がなければ、二酸化炭素排出量は約6%増加



部門別CO<sub>2</sub>排出量 (1998年(平成10年), CO<sub>2</sub>換算) (出典)

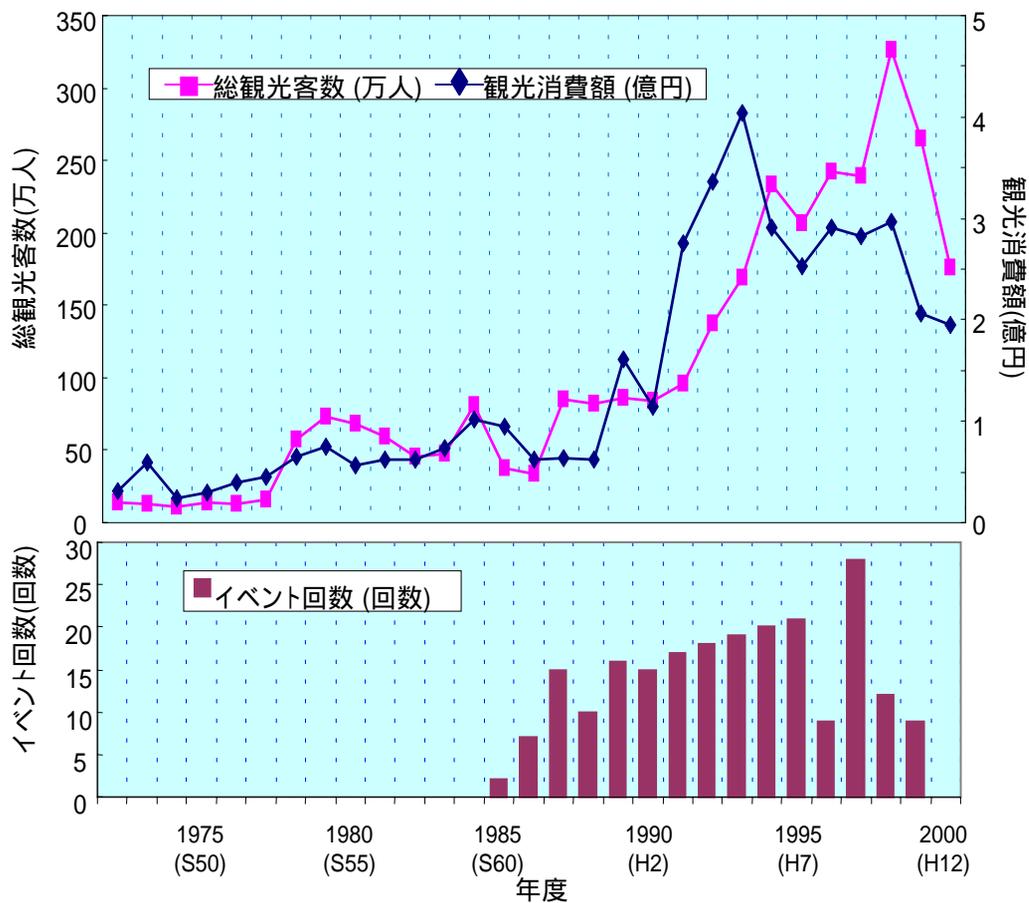
電気事業者の発電量とCO<sub>2</sub>排出量 (1998年(平成10年))

部門別CO<sub>2</sub>排出量: 2000年(平成12年)9月22日地球環境保全に関する関係閣僚会議資料: 環境省  
 発電電力量: 2000年(平成12年)度 温室効果ガス削減技術シナリオ策定調査検討会報告書 (2001年(平成13年)3月): 環境省  
 CO<sub>2</sub>排出原単位: 電力中央研究所報告 ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量による発電技術の評価 研究報告: Y99009 2000年(平成12年)3月

その他、地熱、風力等による排出も存在

# ダム湖及びその周辺の活用、様々なイベントの実施等により、 地域を振興(宮ヶ瀬ダム)

宮ヶ瀬ダムの水源地活性化動向



# ダム湖によって水源地域の活性化が実現(日吉ダム)

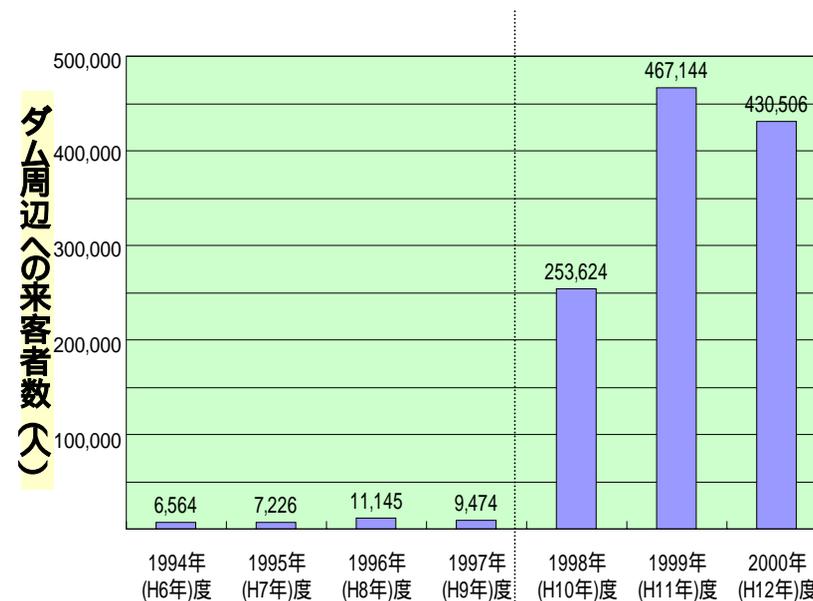


インフォギャラリー



ビジターセンター

## 日吉ダム周辺の来客者が急増



建設中

管理後

# ダム湖を資源として町の活性化を実現(白川ダム)

ダム湖周辺を各機関の連携事業により活用

山形県飯豊町は、少子化や高齢化が顕著であるとともに、農林業の衰退など地域生産活動の停滞が課題となっています。

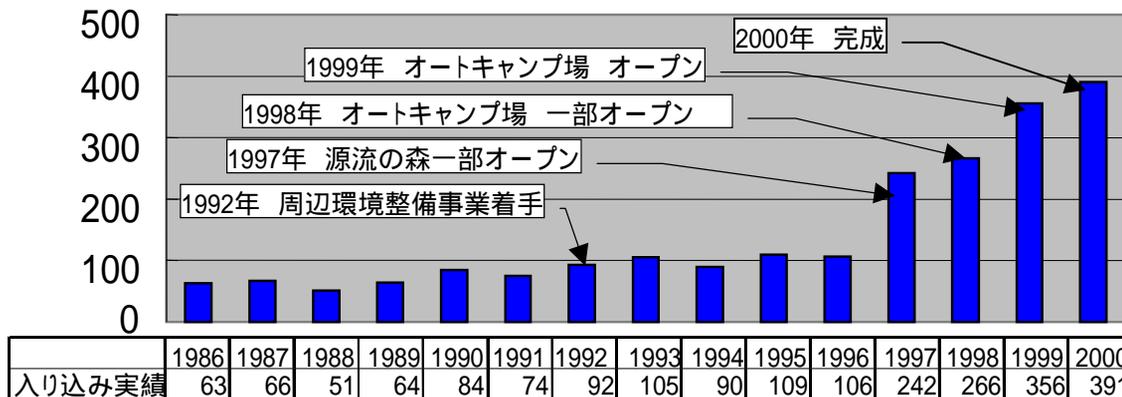
自然豊かな白川湖(白川ダム)を活用し、地域の特性を生かしながら、定住・交流条件の整備による地域活性化を推進するため、「21世紀の森林理想郷」として整備を進めています。



白川ダム湖周辺入り込み客の実績と予測

白川ダム湖周辺入り込み客の実績

(単位:千人)



白川湖畔オートキャンプ場  
1999年(平成11年)9月全面オープン

(山形県資料)

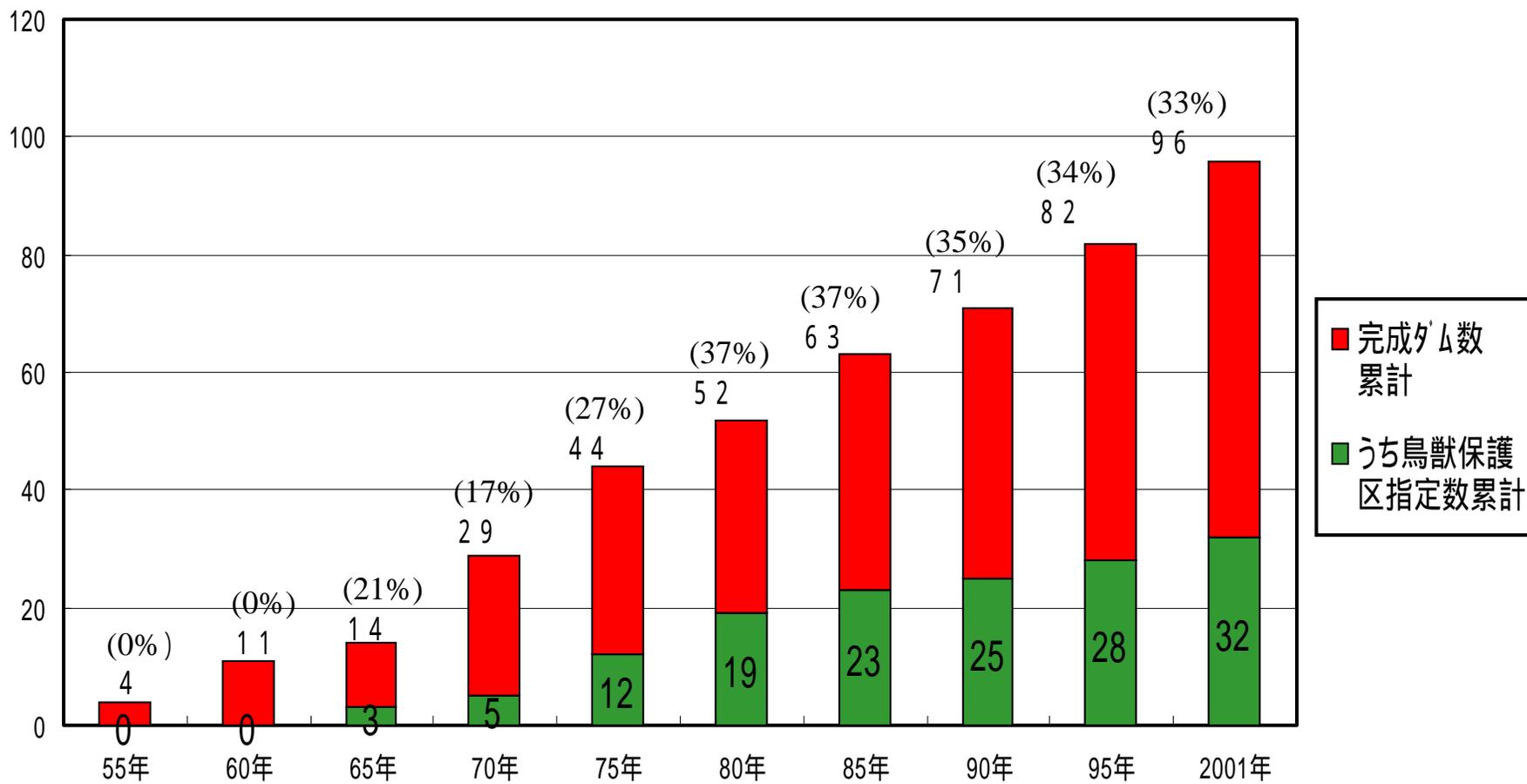


1999年(平成11年)4月に全面オープンした「源流の森」

(注1)ダム湖活用環境整備事業(国土交通省:基盤整備)  
白川郷リフレッシュ整備事業(飯豊町:オートキャンプ場整備)  
(注2)源流の森整備事業(山形県:ダム湖畔を活用)

# ダムは湖によって形成された新たな環境を 鳥獣保護区に指定する事例が増加

## ダム湖の鳥獣保護区の指定状況



注1: 調査対象ダムは全国の直轄及び公団管理の96ダム(平成13年12月現在)

注2: ダム完成後に鳥獣保護区に指定したものを累計